

道立校の20万を超える公費と比すべくもない。正に7分の1にすぎないのである。

この様な時代にあつて、私学は私学の教育研究条件を向上し、国民一般の要請にこたえることこそ最も早急を要する課題として、国公立を総合一貫した文教政策の転換を断行し、私学に対する公費大巾助成を実現する為、私学振興法の制定を要請して、強力な運動を展開しようとしている。

★★お知らせ★★

◎ロータリー世界写真コンテスト

☆主催者：国際ロータリー。 締切期日：1974年4月15日。 テーマ：ロータリーの活動。

☆応募条件 応募作品は白・黒・カラー・透明陽画の写真1枚、或は一つのテーマを5枚以内にまとめた一続きの写真であること。作品には公式の応募申込書又はその写しを添付すること。申込書と作品はすべてロータリー・クラブを通じて提出すること。個人（ロータリアンであるなしに関係なく）より直接提出された作品は受賞できません。審査員の決定が最終となります。応募作品は全部国際ロータリーの所有物となります。

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
48. 9. 19	54名	38名	16名		
48. 9. 12	54名	33名	21名	17名	92.59%
在函クラブ	(9/4) 函館東R.C. 98.99%	(9/6) 函館R.C. 92.56%	(9/7) 函館五稜郭R.C. 100%		

★第466回例会欠席者

深瀬・飯田・岩塚・大井・杉本・森(正)・成田・下郡山・椎谷・戸栗・山本・小笠原・佐々木・渡部・山内(文)・吉井 (16名敬称略)

次回例会日 10月3日

プログラム [法の日]

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所  
函館市大手町5-10  
日魯ビル 3階  
☎ (0138) 23-3870



例会場 函館市大手町5-10  
国際ホテル ☎ (0138) 23-8751

例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1973. 10. 3

1973~1974 第14号

第468回例会

「A Time for Action」今こそ行動のとき

(William C. Carter R.I. 会長指針)



深瀬鴻一郎会員

本日のプログラム

「民事裁判と交通事故抑止力」

函館地方裁判所 民事部長判事 竜前 三郎氏

第467回例会記録

◎司会 駒井 幸一会長

◎斉唱 手に手つないで

◎ゲスト 東京江東R.C. 竹内 作兵衛君 小松R.C. 上杉 思郎君

◎ビジター 函館R.C. 遠藤 哲二君 他13名

函館東R.C. 西村 敏雄君 他3名

函館五稜郭R.C. 柳沢 勝君 他1名

## ●幹事報告

- 1, 岩見沢にて行なわれる年次大会もせまって参りました。最終13名の出席であります。出席の会員の皆さんにはプログラムが参って居りますのでコピーして後程お渡し致します。尚、宿の方はまだ案内がありませんのでわかり次第お知らせ致します。
- 2, 大変遅くなりましたが、会員証本日皆様にお渡し致しました。会員証裏面にサインを忘れない様に。
- 3, 本日例会終了後臨時理事会を開催致します。

## ●理事会審議決定事項

- 1, 先般行なわれた第七分区の第2回会長幹事会にての審議事項を駒井会長より報告説明がなされた。
- 2, 岩見沢の地区年次大会出席者に対し、出席義務者会長幹事の他の会員に対しては、登録料 ¥6,500はクラブより負担することになった。(運賃宿賃等は個人負担)
- 3, 身体障害者福祉協会より身体障害者に対する椅子80脚寄付の件は、在函5クラブ人数割にて負担し協力することと決定。
- 4, 五稜郭公園の照明灯現在2灯施設してありますが、あと2灯追加することにつき総額10万円を在函5クラブ人数割にて負担方協力することに決定。
- 5, 来る10月17日(水)の例会を夜間例会とし、午後6時より行なう。これに先立ち午後3時よりつり大会を行なう。(アッセンブリーを兼ねて行なう)親睦委員会よりの説明に対し協力すること協議す。
- 6, ローターリー合同事務所家賃値上げの件(約1万円)

## ●ニコニコボックス 親睦活動委員会

小笠原 孝会員～災害見舞を無事終えて  
成沢善次郎会員～拓銀「おおとり会」ゴルフコンペAクラス準優勝を祝って  
山内 文夫会員～例会を永らく欠席していたおわびとして

## ●卓 話 「敬老の日に思う」 新 善次会員

去る15日は敬老の日に当りましたので、本日当題にていささか考えることをのべてみたい。今より12年前に69才になった時にこれ以上年をとらず69才で10年ぐらい通そうと

思い、旅行先の宿帳や連絡船の乗船名簿に記名する時も全部69才でここ10数年来通して来た。ここ12年の経過せる年月とその結果とのバランスシートをとって見た処どうも思った通りのバランスが出て来ない様である。あと10数年もたたないと思う様な良い数字が得られないようである。従って敬老の日に思うと云う表題で話しをするのはその事にあらずであるが、しかし機会が与えられたので思うところをいささか話してみたい。

先日、機会があつて農林省の食品研究所の西丸博士の講演をきいたが、興味ある点を紹介してみたい。

氏の人類の将来に対する観測は、はなはだ悲観的であり、それは人間はだんだん短命になって来ている。人間の寿命がだんだんのびて来ていると思っていた処、それは数字の魔術であつて現実には反対で次第に短命になって来ている。それは最近の公害の問題が大きいのしかかつて来ているからで、子供の約半分は影響を受けており、母体よりPCB等の有害物質をせっ取しているからで、今後70才まで生きのびられる可能性は小である。この観点からみると明治生れは大正・昭和生れより得をしていることになる。その理由は公害が一般に表面化したのは15年前そこそこであり、従つて明治生れの人は公害のない時に成人したからで明治生れは80才、大正生れは70才、昭和生れ60才と寿命がだんだん短くなり、大問題である。

私見としては当説に賛成するものであるが、しかし明治生れが80才まで生きて昭和生れが60才で寿命と云うのはいささか独断的であり勿論なる仮説の域を出ない。これは東京や大阪方面の特に公害の影響の大きい地域での話しである。公害病はこれが直接原因で死亡することは少く、むしろ公害のために体力が消耗し、その人の一番弱い部分が発病して、それが直接の原因となって死亡するのが通例である。しかし我々の住んでいる函館地区は北海道でも特に公害のない地域であり、従つて長生き出来るのではないかと思う。人間が健康的に生存してゆくためには少くとも一人につき成木した樹木二本が必要である。これらの樹木の代謝作用によって発生する酸素によって人の健康が保たれる。

大阪府の現在の住民が、一人当たり樹木二本持つためには大阪府の面積を今の7倍にしないと不可能であり、実現出来ない話しである。その点北海道は広さが十分であり、我々には恵まれていると思わなければならない。女性が男性に比して長命であるのは日本ばかりでなく世界各国の傾向である。世界各地の長寿村と云われる所の条件は空気がきれいで水が清澄で自然が極端に苛酷でなく、又良好過ぎでもなく、又激し過ぎないが、

かなりの労働を必要とし粗食であり且つストレスが生じない以上の条件が満たされる地域はいわゆる長寿村になる。ソ連のコーカサス地方の世界一の長寿村はこれらの条件をそなえている。人間の健康を維持するためには日常かなりの労働を必要とする点は留意すべきである。

戦前に土地を立体的に使用すると云う大きな理想の云にクルミの栽培を手がけた。クルミの木の回りには蜜蜂がとびかい、その下には池があって鯉が泳いでいると云う土地の立体的使用法を考えた、しかし、これらの理想も敗戦の結果仲々条件が揃わず思う様に事が運ばなかった。しかし、30数年経過した現在クルミの木は大きくなり、当時一緒に植樹したオンコ等の樹木も立派に成木し、街路樹として使用価値が出て来た。白樺の木等も値段が高くなり、農園経営の大きな財源となっている。幸に人材も確保出来たので、火・木・土・日の週4日間は茂辺地の当農園に精勤している。空気がきれいで水も清澄であり、オゾン一杯の好条件に恵まれた地なので、今後は一般の子供や家族の方々に開放して今後の私の社会奉仕の一つにしたいと思っている。そのためにもまだまだ長生きしようと思っている。

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
48. 9. 26	54名	41名	13名		
48. 9. 19	54名	38名	16名	14名	96.30%
在函クラブ	(9/11) 函館東R.C. 98.99%	(9/13) 函館R.C. 96.69%	(9/14) 函館五稜郭R.C. 100%		

★第467回例会欠席者

深瀬・大嶋・飯田・岩塚・大井・杉本・森(正)・成田・広瀬・野村・渡部・外山・平山  
(13名敬称略)

次回例会日 10月17日

プログラム 「夜間例会」

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所  
函館市大手町5-10  
日魯ビル 3階  
☎ (0138) 23-3870



例会場 函館市大手町5-10  
国際ホテル ☎ (0138) 23-8751  
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1973. 10. 24

1973~1974 第16号

第470回例会

「A Time for Action」今こそ行動のとき

(William C. Carter R.I. 会長指針)



深瀬鴻一郎会員

本日のプログラム

「箴言と覚え書」 遠藤 尚義会員

第469回例会記録

◎司会 駒井 幸一会長

◎斉唱 奉仕の理想

◎幹事報告

1. 一般の岩見沢の地区年次大会には、当クラブより13名の参加でありました。参加者は多く、ホスト・コホストクラブの皆さんの努力で大変立派な大会であったと思う。私は過去3年この2大行事の地区協議会・地区大会にはそのつど出席していますが、いつ参加しても思うことは本当にロータリアンであることをほこりに思うこととロータリー歴のある人の場合はより一層ロータリー活動の指導者として道